

令和 4 年5月10日
北九州市産業経済局

報道機関 各位

北九州市雇用動向調査について

本市では、今後の雇用対策の基礎資料とするため、毎年度、市内の事業所に対し雇用動向調査を実施しています。

この度、令和3年度(調査基準日:令和4年1月1日)に実施した調査の結果をまとめましたので、お知らせします。

【問い合わせ先】

産業経済局地域経済振興部雇用政策課

担当 徳永(課長)、江口(係長)

TEL (093)582-2419

令和3年度北九州市雇用動向調査

1 目的

市内事業所における従業員数の増減、採用状況、従業員の就労状況、業況等を調査・分析することにより、本市の雇用動向を把握し、今後の雇用対策の基礎資料とする。

2 調査対象

市内の従業員数20人以上の民営事業所(約4,500事業所)の中から、1,500事業所を無作為に抽出。

3 調査方法

郵送によるアンケート調査

4 調査実施時期

令和4年1月7日～1月31日(調査基準日:令和4年1月1日)

5 回収結果

配布数 1,500件

回収数 567件

回収率 37.8%

6 調査項目

雇用形態別従業員構成、従業員の過不足感、新規学卒者の採用計画・採用実績、高齢者の採用状況等

7 集計結果(概要)

(1) 雇用の現状について

① 雇用形態別従業員構成

【従業員の雇用形態別の割合は正社員が上昇、パートタイムが低下】

雇用形態別の割合は、正社員が68.3%と最多で、次いでパートタイム19.9%、臨時雇が10.6%となっている。前回調査(令和3年1月)と比べると、正社員(62.9%)が5.4ポイント上昇し、パートタイム(25.4%)が5.5ポイント低下している。

② 従業員の過不足感

【従業員の不足感が強まっている】

従業員全体の過不足状況は、「不足している」が53.4%、「過剰である」が3.4%となっている。過不足判断DIは50.0ポイントで、前回調査(41.4ポイント)に比べると8.6ポイント上昇しており、不足感が強まっている。

(2) 採用状況について

① 過去1年間の採用状況

【過去1年間に従業員を「採用した」事業所の割合は横ばい】

過去1年間に従業員を「採用した」事業所の割合は78.8%で、前回調査(80.9%)並みであり、採用実施率は高い。

② 新規学卒者の採用状況

【過去1年間に新規学卒者を採用した事業所の割合は横ばい】

過去1年間に新規学卒者(令和3年3月卒業)を正社員として採用した事業所は37.6%となっており、前回調査(35.4%)並みである。

③ 中途採用の状況

【過去1年間に正社員を中途採用した事業所の割合は横ばい】

過去1年間に正社員を中途採用した事業所は63.3%となっており、前回調査(65.3%)並みである。

④ 今後の採用計画

【今後1年間に採用を予定している事業所の割合が上昇】

今後1年間に採用を予定している事業所は56.1%と、前回調査(51.6%)より4.5ポイント上昇している。

(3) 高齢者雇用について

高齢者の採用状況

【高齢者を採用した事業所の割合は横ばい】

過去1年間に高齢者(55歳以上)を採用した事業所は全体の38.8%で、前回調査(39.7%)と大きな変化はない。

(4) 新型コロナウイルス感染症に伴う支援の活用について

新型コロナウイルス感染症に伴う行政支援の活用

【半数近い割合の事業所が感染症に伴う行政支援を活用】

「雇用調整助成金」などの行政支援を活用した事業所の割合は52.4%と前回調査(60.8%)から、8.4ポイント低下している。